

Y06b 学生と科学系教育施設の協力による天文学普及活動の報告

高梨 直紘 (東大天文センター)、平松 正顕 (東大理、国立天文台)

天文学を大学院で専攻する学生と複数の科学系教育施設が協力して天文学の普及事業を行った。これらの事業は、学生や科学系教育施設のスタッフを中心とするメーリングリスト「天文学とプラネタリウム ML」上から派生した。講演では、これらの事業がどのようにして提案され、実施されたかを報告する。

我々は多様な専門性を持った人間を結びつけ、その結果として天文学普及の新たなチャンネルを開くことを目指している。例えば、学生は研究領域の専門知識を、科学系教育施設のスタッフはインタープリテーション能力を提供して事業を展開する、といった具合にである。このような協力体制はこれまでは限定的にしか存在せず、様々な専門性を備えた人間が交流できる場が天文学の普及にとって重要であることは2004年度春季年会にて報告した。この交流の場として我々が作ったWEB及びMLをどのように運営しているかについても合わせて報告する。

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/~takanashi/tenpla/>